



GLOSSARY

A

- AAA** Authentication, Authorization, Accounting (認証、許可、アカウントティング) (「トリプル A」 と発音される)
- AAAL5** ATM Adaptation Layer (ATM アダプテーション レイヤ)。このレイヤでは上位レイヤのユーザ データを ATM ネットワーク 送信に適した形式にして、ATM セルにマッピングします。
- ABR** Available Bit Rate (使用可能ビットレート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。ABR は、送信元と宛先間のタイミング関係を必要としない接続に使用されます。ABR はセル損失や遅延に関する保証は行わず、ベストエフォート型サービスのみを提供します。トラフィック送信元は受信した情報 (ネットワークのステータスおよびデータを正常に配信する機能に関する情報) に応じて伝送レートを調整します。
- ACL** Access Control List (アクセス コントロール リスト)。ルータが各種サービスのためにアクセスを制御する目的で維持するリスト (たとえば、特定の IP アドレスを持つパケットが、ルータ上の特定のインターフェイスから転送されないようにする)。
- ADSL** Asymmetric Digital Subscriber Line (非対称デジタル加入者回線)。クライアントからサーバへのデータ伝送よりサーバからクライアントへのデータ伝送の方がきわめて速い Digital Subscriber Line (DSL; デジタル加入者線) 技術。
- ATM** Asynchronous Transfer Mode (非同期転送モード)。複数のサービス タイプ (音声、ビデオ、データ) を固定長セルにして送る、セル リレーの国際標準。固定長セルによって、ハードウェア内でのセル処理が可能になり、伝送遅延を低減することができます。ATM は、E3、SONET、T3 などの高速伝送メディアを利用する目的で設計されています。

B

- BBA** Broadband Aggregation (ブロードバンド集約)
- BGP** Border Gateway Protocol (ボーダー ゲートウェイ プロトコル) 他の BGP システムと到達可能情報を交換する、ドメイン間のルーティング プロトコル。RFC 1163 で定義されます。
- bps** ビット / 秒。デジタル伝送速度の測定基準。

C

- CAR** Committed Access Rate (専用アクセス レート)
- CBOS** Cisco Broadband Operating System。Cisco 675、Cisco 675e、Cisco 676、Cisco 677 などの DSL Customer Premises Equipment (CPE; 顧客宅内機器) に共通のオペレーティング システム。
- CBR** Constant Bit Rate (固定ビット レート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。CBR は、正確なクロッキングを使用して確実な配信を行う接続に使用されます。

CBWFQ	Class-Based WFQ (クラス ベース均等化キューイング)。標準的な Weighted Fair Queuing (WFQ; 均等化キューイング) 機能を拡張して、ユーザ定義トラフィック クラスをサポートします。CBWFQ を行うには、プロトコル、Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト)、および入力インターフェイスなどのマッチ基準に基づいて、トラフィック クラスを定義します。クラスのマッチ基準を満たすパケットが、そのクラスのトラフィックを形成します。クラスごとに1つのキューが確保され、クラスに属するトラフィックは、そのクラスのキューに送られます。Cisco 10000 シリーズ ルータで CBWFQ 機能を使用すると、VAI は、VAI が使用する VC のサービス ポリシーを引き継ぐことができます。
CEF	Cisco Express Forwarding。拡張レイヤ 3 IP スイッチング テクノロジー。CEF は、集中的に使用される Web ベース アプリケーションや対話型セッションを特色とするインターネットなどのネットワーク上で、大規模かつ動的なトラフィック パターンを持つネットワークのパフォーマンスとスケーラビリティを最適化します。
CE ルータ	Customer Edge (カスタマー エッジ) ルータ。カスタマー ネットワークの一部となるルータで、Provider Edge (PE; プロバイダー エッジ) ルータに接続されます。CE ルータは、関連する VPN を認識しません。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocol。不正アクセスを防ぐために、PPP カプセル化を使用して回線上でサポートされるセキュリティ機能。CHAP 自体が不正アクセスを阻止するのではなく、単にリモート エンドを識別するだけです。アクセスが許可されているユーザかどうかの判別は、ルータまたはアクセス サーバが行います。「PAP」と比較してください。
CIR	Committed Information Rate (認定情報速度)。キューに確保されている帯域幅。フレーム リレー ネットワークが、標準的な状況における情報伝送速度として合意した速度 (最小期間における平均値) です。CIR はビット / 秒単位で測定され、ネゴシエートされる主要トラフィック メトリックの1つです。
CoS	Class of Service (サービス クラス)。レイヤ 2 IEEE 802.1Q フレーム ヘッダーの IEEE 802.1p 部分における、2 バイトのタグ制御情報フィールドの上位 3 ビット (ユーザプライオリティ ビット)。QoS はレイヤ 2 CoS 情報としてユーザ プライオリティ ビットを使用します。IEEE 802.1p CoS ベースのパケット マッチングおよびマーキング機能により、Cisco 10000 シリーズ ルータはスイッチと相互運用して、エンドツーエンドの QoS を提供できます。QoS は IEEE 802.1p 標準を使用することにより、CoS フィールドの値に基づいて着信イーサネット パケットを分類したり、発信パケットの CoS フィールドの値を明示的に設定できます。
CPE	Customer Premises Equipment (顧客宅内機器)。ユーザ宅内に設置されている機器を意味します。

D

DBS	Dynamic Bandwidth Selection。DBS は、加入者の RADIUS プロファイルに基づいて ATM トラフィック シェーピング パラメータを動的に変更します。この機能を使用すると、ホールセール サービス プロバイダーは ATM VC 接続の帯域幅に基づいて、リテール サービス プロバイダーにさまざまなレベルのサービスを販売できます。リテール サービス プロバイダーは、加入者に、さまざまなレベルの帯域幅を割り当てられたサービスを選択する機能を提供できます。
DF ビット	Don't Fragment インジケータ ビット。ルータによるパケット分割を許可するかどうかを示す、カプセル化ヘッダー内のビットです。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol。ホストが使用していた IP アドレスが不要となった際に、それらを再利用するため、IP アドレスを動的に割り当てるメカニズムを提供します。
Dialed Number Identification Service	「DNIS」を参照
DNIS	Dialed Number Identification Service。着信側番号です。通常、この番号は、サービスごとにそれぞれ異なる番号が割り当てられているコール センターまたはセントラル オフィスで使用されます。
DNS	Domain Name Server。分散型データベース システムの一部で、完全修飾ドメイン名をインターネット上で通信をルーティングするために使用する 4 つに区切られた IP 番号に変換します。

DSCP	Differentiated Services Code Point
DSL	Digital Subscriber Line (デジタル加入者線)
DSLAM	Digital Subscriber Line Access Multiplexer (デジタル加入者線アクセス マルチプレクサ)。電話サービスプロバイダーの施設で信号を集線し、多重化して WAN に送信します。
Dynamic Bandwidth Selection	「DBS」を参照

E

eiBGP	External and Internal Border Gateway Protocol (外部および内部ボーダー ゲートウェイ プロトコル)
--------------	--

F

FCC	Federal Communications Commission (米国連邦通信委員会)。州間または海外との通信を規制する米国政府機関。通信サービスのレートを設定します。
FTP	File Transfer Protocol (ファイル転送プロトコル)。ホスト間のファイル転送に使用されるインターネットプロトコル。

G

GE	ギガビット イーサネット
GRE	Generic Route Encapsulation。別のプロトコルにネットワーク プロトコルをカプセル化する方式。

H

High VC Count	別名、High VC Mode。セッションのスケーリング処理を最適化するための技術。
HGW	Home Gateway (ホーム ゲートウェイ)。L2TP コンテキストでは、L2TP Network Server (LNS; L2TP ネットワーク サーバ) と呼ばれます。
HTML	Hypertext Markup Language。WWW 用ページコーディング言語。
http	Hypertext Transfer Protocol。WWW ブラウザ コンピュータとアクセス先の WWW サーバ間での WWW トラフィック伝送に使用されるプロトコル。

I

ICMP	Internet Control Message Protocol。IP レイヤでのエラー処理およびメッセージ制御に使用されるプロトコル。実際には、IP プロトコルの一部です。
IETF	Internet Engineering Task Force (インターネット技術特別調査委員会)。80 以上の作業グループから構成され、インターネット技術の標準化を推進する特別委員会。
IGMP	Internet Group Management Protocol。隣接したマルチキャスト ルータに、IP ホストがマルチキャスト グループ メンバーシップを通知します。

Internet Protocol (IP)	インターネット プロトコル スイートのネットワーク レイヤ プロトコル。
IRB	Integrated Routing and Bridging。ルータが、同じインターフェイス上でルータとブリッジの両方として稼働できるプロトコル。ブロードバンド集約では、Routed Bridge Encapsulation (RBE; ルーテッドブリッジ エンカプセレーション) プロトコルの使用を推奨します (「RBE」を参照)。
IP	「Internet Protocol」を参照
ISO	International Organization for Standardization (国際標準化機構)。1946年に設立された非営利の国際機関で、コンピュータや通信などさまざまな国際標準規格を作成しています。
ISP	Internet Service Provider (インターネット サービス プロバイダー)。ホーム ユーザおよび企業ユーザにインターネット接続を提供する会社。
ITU-T	International Telecommunication Union, Telecommunication Standardization Sector (国際電気通信連合電気通信標準化部門)。ITU-T は、ITU の電気通信標準化部門で、サービス プロバイダーやサプライヤに対して電話およびデータ (FAX を含む) 通信システムに関する技術的勧告を作成しています。

L

L2F	Layer 2 Forwarding (レイヤ 2 転送)。インターネット上でセキュアな Virtual Private Dial-up Network (VPDN; バーチャルプライベートダイヤルアップネットワーク) の構築をサポートするプロトコル。
L2TP	Layer 2 Tunnel Protocol (レイヤ 2 トンネル プロトコル)。RFC 2661 で定義されている IETF 標準トラック プロトコルで、PPP のトンネリングを提供します。L2F と PPTP の最高の機能に基づいて、L2TP は、業界共通で相互動作が可能な VPDN 実装方式を提供します。
LAC	L2TP Access Concentrator (アクセス コンセントレータ)。L2TP トンネル エンドポイントの片方として稼働するノードで、L2TP Network Server (LNS; L2TP ネットワーク サーバ) に対するピアになります。LAC は、LNS とリモートシステムの間で、パケットの相互転送を行います。このマニュアルで定義されているように、LAC から LNS へ送信されるパケットには、L2TP プロトコルによるトンネリングが必要です。LAC とリモートシステムの接続は、ローカルまたは PPP リンクのどちらかです。
LAN	Local Area Network (ローカルエリア ネットワーク)。限られた距離 (通常、数キロメートルまたは 2 ~ 3 マイルまで) をカバーする高速ネットワーク (通常、4 ~ 100 Mbps) で、多くのコンピュータをサポートします。
LCP	Link Control Protocol。PPP が使用するデータリンク接続を確立、設定、およびテストするプロトコル
LNS	L2TP Network Server (L2TP ネットワーク サーバ)。L2TP トンネルのエンドポイントの片方として稼働するノードで、L2TP Access Concentrator (LAC; L2TP アクセス コンセントレータ) に対するピアになります。LNS は、リモートシステムから LAC によってトンネルされる PPP セッションの論理的な終端ポイントです。Layer 2 Forwarding (L2F; レイヤ 2 転送) Home Gateway (HGW; ホーム ゲートウェイ) と類似しています。

M

MAC	Media Access Control Layer (メディア アクセス制御レイヤ)。ISO OSI モデルのデータ リンク レイヤ (レイヤ 2) のサブレイヤで、メディア制御を行います。
MIB	Management Information Base (管理情報ベース)。SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) や Common Management Information Protocol (CMIP; 共通管理情報プロトコル) といったネットワーク管理プロトコルによって使用、保守されるネットワーク管理情報のデータベース。MIB オブジェクトの値は、SNMP コマンドを使用して (通常、Network Management System [NMS; ネットワーク管理システム] を通して) 変更したり、読み出したりすることが可能です。MIB オブジェクトは、public (標準) および private (独自仕様) ブランチを含むツリー構造で構成されています。

MPLS	Multiprotocol Label Switching (マルチプロトコル ラベル スイッチング)。ラベルを使用して IP トラフィックを転送するスイッチング方式。このラベルは事前に確立された IP ルーティング情報に基づいて、ネットワーク内のルータおよびスイッチにパケットの転送先を指示します。
MPLS VPN	MPLS ベース Virtual Private Network
MQC	Modular QoS Command-line Interface (モジュラ QoS コマンドライン インターフェイス)。モジュラ CLI (コマンドライン インターフェイス) ともいいます。シスコ製品上で QoS 機能を設定するための、プラットフォームに依存しない CLI です。
MR-APS	Multirouter Automatic Protection Switching

N

NAS	Network Access Server (ネットワーク アクセス サーバ)。パケット環境 (インターネットなど) や回線環境 (PSTN など) とのインターフェイスとなるシスコ社のプラットフォーム (またはプラットフォームの集合)。
NetFlow	ルータを通過する IP フローの情報を収集する、シスコ社独自の IP 統計情報収集機能。
NVRAM	Non-Volatile Random Access Memory (不揮発性 RAM)。ルータはこのメモリを使用して、設定情報を保存します。このメモリの内容は、リブートや電源切断後も保持されます。

O

OAP	Overlapping Address Pool (オーバーラッピング アドレス プール)。複数の IP アドレス スペースをサポートする IP アドレス グループ。さらに、プール グループ内で非オーバーラッピング IP アドレス プールの確認も行います。
ODAP	RADIUS サーバや DHCP サーバなどの中央サーバによって管理されるアドレス ブロック。各プールはさまざまなサイズのサブネットに分割されます。サーバは要求に応じて PE ルータにサブネットを割り当てます。
OSI	Open Systems Interconnection (開放型システム間相互接続)。異なるメーカーのコンピュータ間の通信を促進する国際標準化プログラム。

P

PAP	Password Authentication Protocol (パスワード認証プロトコル) PPP ピアの相互認証を可能にする認証プロトコル。ローカル ルータに接続しようとするリモート ルータは、認証要求を送信する必要があります。CHAP とは異なり、PAP ではパスワードと、ホスト名またはユーザ名をクリアな (暗号化されていない) 状態で送ります。PAP 自体が不正アクセスを阻止するわけではなく、単にリモート エンドを識別するだけです。アクセスが許可されているユーザかどうかの判別は、ルータまたはアクセス サーバが行います。PAP は、PPP 回線でのみサポートされます。「CHAP」と比較してください。
PCR	Peak Cell Rate (ピーク セル レート)。ATM トラフィック管理に関して ATM フォーラムで定義されたパラメータです。
PE ルータ	Provider Edge (プロバイダー エッジ) ルータ。Customer Edge (CE; カスタマー エッジ) ルータに接続されているサービス プロバイダー ネットワークの一部であるルータ。PE ルータでは、すべての VPN 処理が行われます。
PPP	Point-to-Point Protocol (ポイントツーポイント プロトコル)。SLIP の後継で、同期 / 非同期両方の回線を通じてルータとルータ、およびホストとネットワークの接続を提供します。

PPPoA	PPP over ATM。Asynchronous Transfer Mode (ATM; 非同期転送モード) インターフェイスを搭載した大容量中央ルータが、複数のリモート PPP 接続を終端できるようにします。
PPPoE	PPP over Ethernet。単純なブリッジング イーサネット接続されたクライアント上で、PPP セッションを開始できるようにします。PPPoE 内で定義されたシグナリング プロトコルおよびカプセル化方式を意味します (RFC 2516 も参照)。
PPPoEoA	PPP over Ethernet over ATM。イーサネット リンク上での PPP セッションのトンネリングや終端、および ATM リンクによるイーサネット PPP 接続を可能にします。
PPPoEoE	PPP over Ethernet over Ethernet。イーサネット リンク上での PPP セッションのトンネリングや終端、およびイーサネット リンクによるイーサネット PPP 接続を可能にします。
PPPoEo802.1Q VLAN	PPP over Ethernet over IEEE 802.1Q VLAN。VLAN リンク間でのイーサネット PPP セッションのトンネリングおよび終端を可能にします。IEEE 802.1Q カプセル化は、VLAN 対応ルータを他の VLAN 対応ネットワーク装置と相互接続するために使用されます。802.1Q リンク上のパケットは、標準のイーサネット フレームおよびそのフレームに関連する VLAN 情報で構成されます。
PPPoX	PPPoA や PPPoE、またはその両方による PPP
PQ	Priority Queuing
PTA	PPP Termination Aggregation (PPP 終端集約)。PPP セッションを終端させ、IP トラフィックを単一のルーティング ドメインに集約させる、IP トラフィック集約方式。
PTA-MD	PTA Multi-Domain (PTA マルチドメイン)。PPP セッションを終端させ、IP トラフィックを VPN または複数の IP ルーティング ドメインに集約させる、IP トラフィック集約方式。
PVC	Permanent Virtual Circuit または Connection (相手先固定回線または接続)。永続的に確立されている仮想回線。PVC は、特定の仮想回線が常に存在する必要がある状態で、回線確立および切断に関連する帯域幅を節約します。ATM 用語では、Permanent Virtual Connection の略語となります。「SVC」と比較してください (「VC」も参照)。
PVP	Permanent Virtual Path (相手先固定パス)。PVC で構成される仮想パス。
PXF	Parallel Express Forwarding。高速フォワードともいいます。高速パケットフォワーディング用に最適化されている、パイプライン化されたマルチプロセッサ パラレル パケット エンジンです。

Q	
QoS	Quality of Service (サービス品質)。複雑なネットワークにおいて、さまざまなネットワーク アプリケーションおよびトラフィック タイプを制御し、予測どおりに処理することを可能にする Cisco IOS QoS 技術。

R	
RADIUS	Remote Authentication Dial-In User Service。Livingston Enterprise が作成した、クライアント / サーバ セキュリティ プロトコル。セキュリティ情報は、RADIUS サーバと呼ばれる中心の場所に保存されます。
RADIUS アカウンティングクライアント	これによって、システム管理者はダイヤルインの使用状況を追跡できます。
RADIUS セキュリティクライアント	ネットワーク上の特定のサービスへのアクセスを制御します。

RBE	Routed Bridge Encapsulation (ルーテッドブリッジエンカプセレーション)。PPP ルーテッドインターフェイスでスタブブリッジドセグメントを終端させるプロセス。特に、ルータは PPP、RFC 1483 ATM、または RFC 1490 フレームリレーなどの PPP プロトコル上で伝送される IEEE 802.3 またはイーサネットヘッダーでルーティングを行います。
RD	Route Distinguisher (ルート識別子) IPv4 プレフィクスと結合され、一意の VPN IPv4 プレフィクスを作成する 8 バイト値。
RIP	Routing Information Protocol 。自律システム内におけるルーティング情報を交換するために使用する IGP で、ホップカウントをルーティングメトリックとして使用します。

S

SCR	Sustainable Cell Rate (平均セルレート)。ATM トラフィック管理に関して ATM フォーラムで定義されたパラメータです。VBR 接続では、SCR により、伝送可能な長期平均セルレートが決まります。
SNMP	Simple Network Management Protocol (簡易ネットワーク管理プロトコル)。TCP/IP ネットワークではほぼ独占的に使用されているネットワーク管理プロトコル。SNMP は、ネットワークデバイスの監視と制御、および設定、統計情報の収集、パフォーマンス、セキュリティの管理を行う (通常、NMS を使用して) 手段を提供します。
SVC	Switched Virtual Circuit (相手先選択回線)。オンデマンドで動的に確立され、伝送終了時に切断される仮想回線。SVC は、データ転送が散発的である場合に使用されます。ATM 用語では、Switched Virtual Connection の略語となります。「PVC」と比較してください。

T

ToS	Type of Service (サービスタイプ)。RFC 791 で最初に定義されています。
------------	--

U

UBR	Unspecified Bit Rate (無規定ビットレート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。UBR を使用すると、指定された最大値までのデータ量をネットワークを介して送信できます。ただし、セル損失率や遅延に関しては保証されません。
UNI シグナリング	ATM 通信用のユーザネットワークインターフェイスシグナリング。

V

VAI	Virtual Access Interface (バーチャルアクセスインターフェイス)
VBR	Variable Bit Rate (可変ビットレート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。VBR はリアルタイム (rt) クラスおよびノンリアルタイム (nrt) クラスに分類されます (「VBR-nrt」および「VBR-rt」も参照)。
VBR-nrt	Variable Bit Rate-non real time (ノンリアルタイム可変ビットレート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。VBR-nrt は、サンプル間に固定タイミング関係がない接続に使用されます。ただし、保証された QoS が必要です。
VBR-rt	Variable Bit Rate-real time (リアルタイム可変ビットレート)。ATM ネットワークに関して ATM フォーラムで定義された QoS クラス。VBR-rt は、サンプル間に固定タイミング関係がある接続に使用されません。

VC	Virtual Circuit (仮想回線)。Virtual Channel (仮想チャネル) ともいいます。ATM アプリケーションで使用されます。専用線のポイントツーポイント リンクのように動作するリンク、またはポイントツーポイント ネットワークと同様にパケットを順番に配信するシステム。実際には、データはネットワーク上の最も適切なルートを通して配信されます。送信側と受信側のどちらの装置もルートの選択肢を認識する必要はなく、ルートはメッセージの送信時にのみ選択されます。あらかじめルートが設定されているわけではないので、各 VC が存在するのは、伝送中だけです。
VCI	Virtual Channel Identifier (仮想チャネル識別子)。ATM セルのヘッダーにある 16 ビットのフィールド。VCI は、VPI との組み合わせで、ATM スイッチを順番に通ってセルが宛先に届く過程での、セルの次の目的地を識別するのに使用します。ATM スイッチは、VPI/VCI フィールドを使用して、最終目的地に届くためにセルが通る次のネットワーク VCL を識別します。VCI の機能は、フレーム リレーにおける DLCI と類似しています。
VLAN	Virtual LAN (仮想 LAN)。1 つ以上の LAN で、実際にはいくつかの異なる LAN セグメントに位置しているにもかかわらず、同じ回線に接続しているかのように通信できるよう (管理ソフトウェアにより) 設定された装置グループ。VLAN は、物理接続ではなく論理接続に基づいているので、非常にフレキシブルです。
VPDN	Virtual Private Dialup Network (バーチャルプライベートダイヤルアップ ネットワーク)。あたかも直接接続しているように動作して、ホーム ネットワークに離れた場所からのダイヤルイン ネットワークを可能にするシステム。VPDN では、L2TP および L2F を使用して、上位層ホーム ゲートウェイのネットワーク接続のレイヤ 2 以上のレイヤを終端させます。
VPI	Virtual Path Identifier (仮想パス識別子)。ATM セルのヘッダーにある 8 ビットのフィールド。VPI は、VCI との組み合わせで、ATM スイッチを順番に通ってセルが宛先に届く過程での、セルの次の目的地を識別するために使用します。ATM スイッチは、VPI/VCI フィールドを使用して、最終目的地に届くためにセルが通る次の VCL を識別します。VPI の機能は、フレーム リレーにおける DLCI と類似しています。
VPN	Virtual Private Network (バーチャルプライベート ネットワーク)。1 つまたは複数の物理ネットワークでリソースを共有する IP ベースのセキュア ネットワーク。VPN は、共有バックボーンで安全に通信できる地理的に分散したサイトで構成されています。VPN では、ネットワーク間のすべてのトラフィックをカプセル化することで、公衆 TCP/IP ネットワークを介して IP トラフィックを安全に伝送できるようにします。VPN では、IP レベルですべての情報を暗号化するために、「トンネリング」を使用します。
vpn4	コマンドにおいて、VPN-IPv4 プレフィックスを指すためのキーワードとして使用されます。これらのプレフィックスはカスタマー VPN アドレスであり、各プレフィックスは 8 バイトのルート識別子が付加されることによって一意となっています。
VRF	Virtual Routing and Forwarding。インスタンス。VRF は、IP ルーティングテーブル、導出転送テーブル、転送テーブルを使用するインターフェイスのセット、および転送テーブル内容を決める規則とルーティング プロトコルのセットで構成されています。一般に、VRF には PE ルータに接続されているカスタマー VPN サイトを定義するルーティング情報が含まれています。
VSA	Vendor-Specific Attribute。特定のベンダーによって実装されたアトリビュートです。VSA はアトリビュート Vendor-Specific を使用して、作成された AV ペアをカプセル化します。基本的には、Vendor-Specific = プロトコル : アトリビュート = 値です。

W

WAN	Wide Area Network (ワイドエリア ネットワーク)。広範囲に広がっているデータ通信ネットワークで、通常、一般通信事業者 (電話会社またはサービス プロバイダーなど) によって提供されます。
WFQ	Weighted Fair Queuing (均等化キューイング)。QoS 輻輳管理機能です。
WRED	Weighted Random Early Detection (重み付けランダム早期検出)。QoS 輻輳回避機能です。

X

xDSL 多様なタイプのデジタル加入者回線。ADSL、HDSL、VDSL などがあります。

あ

相手先固定接続 2人のユーザ間の固定仮想回線。公衆データ網の専用回線に該当します。コールの設定やクリアの処理は必要ありません。

アップストリーム レート 送信元の機器からネットワーク上の宛先機器に、メッセージまたはデータが伝送される場合の回線速度。

い

イーサネット 最も一般的な LAN 配線設計の 1 つです。イーサネットには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps の伝送速度があります。

インターネット 多数のルータによって相互接続され、全体で 1 つの巨大な仮想ネットワークのように機能するネットワーク集合体。

お

オーバーラッピング アドレス プール 「OAP」を参照

オンデマンドアドレス プール 「ODAP」を参照

か

カプセル化 階層化プロトコルで使用される技術。各レイヤでは、上位レイヤからの Protocol Data Unit (PDU; プロトコルデータユニット) にヘッダー情報を追加します。

く

クラスベース WFQ 「CBWFQ」を参照

た

帯域幅	伝送回線またはチャンネルによって伝送される周波数の幅。帯域幅が広がると、チャンネルの情報伝送容量も増えます。デジタルチャンネルの場合は、ビットで定義されます。アナログチャンネルの場合は、データのエンコードに使用される変調のタイプおよび方式に依存します。
ダウンストリームレート	ネットワーク機器からユーザ Customer Premises Equipment (CPE; 顧客宅内機器) へのリターンメッセージまたはデータ伝送の回線速度
ターボ ACL	予測可能な所定期間内に (通常、リスト内のエントリ数に関係しない)、パケットがリストと一致するかどうかを判別する PXF パイプラインの機能です。ターボ ACL (アクセス制御リスト) を使用すると、ルータが ACL を評価するときに、より適切なパケット分類およびアクセスチェックが可能になります。ターボ ACL 機能は最初のマッチ要件を維持しながら、ACL を一連のルックアップ テーブルにコンパイルします。パケット ヘッダーは、既存の ACL エントリ数に関係なく、小さく固定された数のルックアップ テーブルにアクセスするために使用されます。

と

トラップ	SNMP エージェントから、ネットワーク管理ステーション、コンソール、または端末に送信されて、重大なイベント (特別に定義されている状態や、しきい値の超過など) の発生を知らせます。
トンネル	複数の L2TP セッションを伝送できる、LAC と LNS 間の仮想パイプ。
トンネルスイッチ	DSL 環境で使用される用語。L2TP、PPTP、または L2F からの PPP セッションを受け入れ、L2TP、PPTP、または L2F を使用して再びトンネル化する装置を意味します (「マルチホップ」も参照)。

に

認証	情報へのアクセスをユーザ ベースで許可するためのセキュリティ機能。
----	-----------------------------------

ふ

ファーストスイッチング	ルータでのパケット スwitチングの高速化のためにルート キャッシュを用いるシスコの機能
ブリッジ	2 つ以上の物理ネットワークを接続して、それらのネットワーク間でパケットを転送する装置。通常、ブリッジはパケットのフィルタリングをする目的で作成されており、特定のトラフィックのみを転送します。
ブロードキャスト	所定のパケットのコピーをネットワークに接続されているすべてのホストに送信するパケット配信システム。例として、イーサネットがあります。
ブロードバンド	1 本のケーブルに独立したネットワーク キャリアを多重化するネットワークの特性。通常、Frequency Division Multiplexing (FDM; 周波数分割多重) 方式が使用されます。ブロードバンド技術を使用すると、民間ラジオ システムのように「イーサ」の異なる周波数上で「会話」が実行されるので、複数のネットワークを 1 本のケーブル上に共存させ、各ネットワークのトラフィックが相互に干渉しないようにすることができます。
ブロードバンドリモートアクセスサーバ	企業のネットワークのリモートユーザ、または Internet Service Provider (ISP; インターネット サービスプロバイダー) ネットワークのインターネット ユーザを終端し、ファイアウォール、認証、およびルーティング サービスをリモートユーザに提供する装置。

ほ

ポイントツーポイント サブインターフェイス ポイントツーポイント サブインターフェイスにより、各ルータ ペアは独自のサブネットを所有します。ポイントツーポイント サブインターフェイスに PVC が設定されている場合、ルータはサブインターフェイスに設定されているポイントツーポイント PVC が 1 つのみであると想定します。したがって、宛先 IP アドレスが同じサブネット内にある IP パケットは、この VC 上で転送されます。これによりマッピングの設定が容易になるため、この方法を推奨します。

ホップ カウント インターネット上の 2 つのポイント間の距離を表わす単位。送信元と宛先を隔てるゲートウェイの数に一致します。

ま

マルチキャスト 単一パケットがネットワークによってコピーされ、特定のネットワーク アドレスのサブセットに送られます。これらのアドレスは Destination Address フィールドで指定されます。

マルチプレクサ 1 つの回線上に複数の信号を送信できる装置。信号は、リンクの反対側で同様の装置によって分割されます。これには、さまざまな方法があります。Time Division Multiplexing (TDM; 時間分割多重)、Frequency Division Multiplexing (FDM; 周波数分割多重)、および統計処理多重などです。また、マルチプレクサはデータ圧縮、エラー訂正、伝送速度、およびマルチドロップ機能の面で有効になってきています。

マルチホップ シスコ VPN 環境で使用される用語。L2TP、PPTP、または L2F からの PPP セッションを受け入れ、L2TP、PPTP、または L2F を使用して再びトンネル化することを意味します。「トンネル スイッチ」も参照。

マルチポイント サブインターフェイス マルチポイント ネットワークでは、同じサブネット内にルータが 3 台以上あります。Dynamic Bandwidth Selection (DBS) では、ポイントツーマルチポイント サブインターフェイスまたはメイン インターフェイス (デフォルトでマルチポイント) に PVC を設定した場合、スタティック マッピングを設定するか、インバース Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) によるダイナミック マッピングをイネーブルにする必要があります。

も

**モジュラ QoS コマンド
ラインインターフェイス** 「MQC」を参照

る

ルータ ネットワーク (またはインターネット) トラフィックが複数のパスのどれを通るかを決定するシステム。そのために、ルータはルーティング プロトコルを使用して、ネットワーク情報を取得するとともに、アルゴリズムを使用して「ルーティング メトリック」と呼ばれるいくつかの基準に基づき、最良のルートを選択します。

ルーティング テーブル ネットワーク パスおよびステータス情報から構成される、ルータ内に保存された情報。最適なルートを選択して情報を転送するために使用します。

ルート ネットワーク トラフィックが、送信元から宛先に至るまでに通るパス。データグラムが通るルートには、多くのゲートウェイおよび多くの物理ネットワークが含まれている場合もあります。インターネットでは、各データグラムが別々にルーティングされます。

ろ

ローカルアドレス
プール

ローカルに設定された IP アドレスのプールで、Virtual Home Gateway (VHG; バーチャル ホーム ゲートウェイ) または PE ルータが終端する PPP セッションのリモート ユーザにアドレスを割り当てるために使用します。